

# 8月 保健センターだより

☎ 市役所健康推進課(保健センター)(内線 311 ~ 318)

○母子健康手帳:月~金曜日、午前8時30分から午後5時15分まで(土・日曜日、祝日を除く)に随時、市役所健康推進課(保健センター)で交付します。  
 妊娠届出書(医療機関が発行したもの)、本人確認ができるもの(マイナンバーカード、運転免許証など)が必要です。マイナンバーの記入が必要となりますので、マイナンバーカードをお持ちでない方は「通知カード」をお持ちください。  
 ○子育て相談:保健師による個別相談を行います。事前に市役所健康推進課に電話などでご予約ください。  
 ○歯みがき相談:歯科衛生士による個別相談を行います。事前に市役所健康推進課に電話などでご予約ください。  
 ○2歳児ピカピカ歯科教室は、2歳6か月ピカピカ歯科教室に変わり10月より実施します。市ホームページでご確認ください。

**乳幼児健診** ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により、やむを得ず中止(延期)する場合があります。

乳幼児健診	実施日	受付時間	対象者	内容など	場 所	
3~4か月児健康診査	3日(火)	13:00~13:30	対象の方には個別通知でご案内します。		保健センター(市役所3階)	
1歳6か月児健康診査	23日(月)	13:00~13:40	1歳8~9か月頃のお子さんを対象に個別通知します。	お子さんの誕生日により、受付時間が異なります。詳しくは個別通知をご覧ください。		
3歳児健康診査	19日(木)	13:00~13:40	3歳4~5か月頃のお子さんを対象に個別通知します。 ※H30.4月生まれ以降の方には、日本脳炎1期の予防接種を3歳児健診の案内と一緒に送付します。 3歳過ぎてから医療機関にて接種をしてください。			
離乳食講習会 ※希望の方は事前に予約が必要です。	18日(水)	前期 9:15~9:30	令和3年3月 出生児	生後5~6か月頃のお子さん		管理栄養士による離乳食の講話があります。後期のみ歯のお話があります。
		後期 10:15~10:30	令和2年11月 出生児	生後9か月頃のお子さん		離乳食初期・中期の動画がご覧いただけます→

**予防接種についてお知らせ**  
 ※MR2期・日本脳炎2期・2種混合については対象の方へ個別通知をしています。  
 ※MR1期・水痘は1歳のお誕生日前日から接種できます。  
 ※子宮頸がん予防接種対象の方で市外で接種を希望される場合は、接種前に健康推進課へ連絡をしてください。  
 詳しくは市ホームページ【令和3年度予防接種事業のご案内】をご覧ください。予防接種の詳細はこちらからもご覧いただけます→

**歯科検診** ※内容を変更および中止する場合があります。予約の際、歯科指定医療機関にご確認ください。

歯科保健	対象者	実施期間	受診料	場 所	受診方法
歯周病検診	20歳以上の方	歯周病検診、節目歯科無料クーポン検診は令和4年3月31日までのご利用となります	無料	歯科指定医療機関	検診が受けられる歯科医院一覧(令和3年度弥富市健康増進事業のご案内)を参照)に電話で予約し、受診してください。 ※節目歯科無料クーポン検診対象の方には、5月末に個人通知にて詳細案内をしています。 受診時には「保険証」を持参してください。 ※妊産婦の方は、受診時に妊産婦歯科健診受診票、母子健康手帳をお持ちください。
節目歯科無料クーポン検診	20、30、40、50、60、70歳の方				
妊産婦歯科健診	妊娠中の方 産後1年以内の方	対象となる期間中ご利用できます			

**相談** ※電話相談になる場合もあります。

成人保健	実施日時	内容など	対象者	場 所
健康相談	随時(土・日・祝日を除く) 8:30~15:00	生活習慣病など体や心の健康について心配がある方に、保健師が個別に相談に応じます。	市民	保健センター(市役所3階)
栄養相談	不定期(土・日・祝日を除く) 9:30~13:30(要予約)	食事や栄養に関することについて、管理栄養士と一緒に考えてみませんか。※開催日は保健センターにお問い合わせください。		
歯科相談	随時(土・日・祝日を除く) 9:00~15:00(要予約)	お口のケアや、誤えん性肺炎予防、お口の体操について歯科衛生士が個別に相談に応じます。		
禁煙相談	随時(土・日・祝日を除く) 9:00~15:00(要予約)	禁煙方法を保健師と一緒に考えましょう。		

●健康手帳について:検診結果および精密検査結果は健康手帳を利用して、ご自身で管理しましょう。健康手帳は厚生労働省ホームページからダウンロードができます。

**助成関係**

不妊治療	内 容	備 考
一般不妊治療費助成	一般不妊治療(人工授精)に要した費用の一部を助成します。	詳しくは市役所健康推進課へお問い合わせください。
特定不妊治療費助成	体外、顕微授精による不妊治療費の一部を助成します。	

**がん検診** ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、延期・中止になる場合があります。

●個別がん検診・肝炎ウイルス検診

検診項目	対 象	料 金		検診の受け方	
		69歳以下	70歳以上		
胃がん	50歳以上の方 (2年に1度)	内視鏡検査	2,900円	1,500円	申込期間中に、希望の医療機関で直接予約をとり、検診票を受け取って受診ください
		バリウム検査	2,800円	1,400円	
肺がん	40歳以上の方	X線のみ	1,100円	600円	▼検診場所 海部医師会等指定医療機関 および海南病院(子宮・乳がん)
		X線+喀痰※1	1,700円	900円	
大腸がん			700円	400円	▼検診期間 10月30日(土)まで
子宮がん	20歳以上の女性 (2年に1度)	頸部のみ	1,100円	600円	▼持ち物 ※海南病院(子宮・乳がん)は10月29日(金)まで がん検診等受診券(4月に個別通知済)、 保険証、検診料
		頸部+体部※2	1,900円	1,000円	
乳がん	30歳以上の女性 (2年に1度)	超音波	1,300円	700円	▼申込期間 10月23日(土)まで ※海南病院(子宮・乳がん)は10月15日(金)まで 詳細は、「令和3年度弥富市がん検診・健康増進事業のご案内」をご覧ください。
		マンモグラフィ	1,500円	800円	
前立腺がん	50歳以上の男性		1,000円	500円	
肝炎ウイルス	40歳の方		1,000円	500円	

※1 50歳以上の方で喫煙指数が600以上の方が対象です。(喫煙指数=1日の喫煙本数×喫煙年数)  
 ※2 最近6か月に症状(不正性器出血・月経異常・褐色帯下)があった方が対象です。

●集団健診(バス検診)

保健センターおよびバスにて集団検診を実施しています。  
 定員になり次第申し込みを終了します。希望される方は日程・空き状況を市役所健康推進課までお問い合わせください。

**がん検診の予約・受診には、がん検診等受診券が必要です。(がん検診等受診券がないと受診できません)**  
 対象の方(20歳以上の女性市民、40歳以上の男性市民)には、4月に郵送しましたので、**がん検診の予約・受診の際は毎回お忘れなくお持ちください。**紛失された場合は再発行しますので、市役所健康推進課までお問い合わせください。

## お済みですか?風しん抗体検査および定期予防接種(風しん第5期)

弥富市に住民登録がある、昭和37年4月2日~昭和54年4月1日生まれの男性の方には市から風しん抗体検査および予防接種の無料クーポン券を送付しています。  
 対象者で、まだ抗体検査や予防接種をお済みでない方は、ぜひこの機会にご利用ください。  
 クーポン券を紛失された方や転入された方は、再交付しますので市役所健康推進課までご連絡ください。

## 健康増進コラム ~第161回~

### 「離乳食講習会」のご紹介

保健センターでは生後5~6か月頃(前期)と生後9か月頃(後期)のお子さんとお母さんを対象に、離乳食講習会を行なっています。「進め方がわからない」「どれくらいの固さがいいの」など、疑問や不安がつきものの離乳食について、管理栄養士がお話しします。昨年度はコロナウイルスの影響で中止をしていましたが、ご要望もあり今年度は予約制、少人数で再開することになりました。離乳食の動画も作成しましたので、市ホームページまたは二次元コードから、ぜひご覧ください。



★弥富市健康増進計画ホームページ★  
<https://www.city.yatomi.lg.jp/kurashi/1000209/1000230/1001456.html>  
 ぜひご覧ください。

## 歯の健康講座 8月号 その468

### 必要な歯科治療をやめないでください

歯科治療は新型コロナウイルスへの感染リスクが高いという報道などで、歯科治療を控える患者さんが増えています。  
 このような報道などは多くの場合、歯科医院が行う感染防止対策を考慮していません。  
 新型コロナウイルスに限らず、感染防止対策は歯科治療にあたって必須事項です。そのため、歯科では以前から日常的な感染防止対策の実施が求められてきました。  
 患者さんの不安な思いは当然ですが、それで受診をやめてしまう前に、不安も含めて歯科医師に相談して下さい。患者さんの不安にも配慮して、治療の計画をご提案します。  
 歯やお口の病気は、早く治療し、定期的なケアで重症化を予防することが第一に大切です。  
 受診が遅れて重症化してしまい、もし自分の歯を失うことになれば、その後の健康や生活に大きな影響を及ぼすことになります。  
 お口の健康は全身の健康の基本です。コロナにおびえて大切な歯を失くしてしまう、そんなことがないよう、必要な治療やケアは継続しましょう。(海部歯科医師会)